

臨時国会召集要求書

我々野党十党派は、国政の停滞が国民生活に重大な影響を与えている現状を深く憂慮し、臨時国会の速やかな召集を強く要求する。去る七月二十日の参議院選挙において、国民は物価高騰や実質賃金の伸び悩み、社会保障制度の将来不安など、切実な生活課題に対する政治の対応を厳しく問うた。選挙で示されたこの明確な意思を、国会における論戦を通じて政策へ直ちに反映させることこそ、民主主義の根幹である。

しかしながら、投開票日からすでに二カ月近くが経過しているにもかかわらず、政府・与党は国会を開かず、国民への説明責任を果たしていない。その背景には、自民党内部の深刻な対立と主導権争いがあり、政権運営に大きな停滞と混乱を招いていることは明らかである。さらに、総裁選をいわゆる「フルスペック」で実施すれば、国会の空白は三カ月近くにも及ぶこととなり、ガソリン暫定税率の廃止、日米貿易交渉に伴う関税措置の影響緩和、災害対策、経済対策等に不可欠な補正予算の編成など、喫緊の課題に対する政府の対応が著しく遅延することが強く懸念される。かかる長期に及ぶ政治の空白は、国民生活に直接かつ重大な影響を及ぼすものであり、断じて看過することはできない。よってここに、日本国憲法第五十三条及び国会法第三条に基づき、立憲民主・社民・無所属、国民民主党・新緑風会、日本維新の会、参政党、日本共産党、れいわ新選組、日本保守党、沖縄の風、チームみらい及び社会民主党に所属する参議院議員は、速やかに臨時国会を召集するよう強く求める。

令和七年九月十一日

代表者

斎藤 嘉隆	伊藤 孝幸	伊藤 柴田	梅村みずほ	仁比 聡平
伊勢崎賢二	北村 晴男	伊波 洋行	安野 貴子	福島みずほ

他 百十一名

青木 愛	石垣のりこ	石橋 通宏	泉 房穂	打越さく良
小沢 雅仁	鬼木 誠	勝部 賢志	岸 真紀子	木戸口英司
熊谷 裕人	郡山りょう	古賀 千景	古賀 之士	小島とも子
小西 洋之	塩村あやか	柴 慎一	杉尾 秀哉	高木 真理
田島麻衣子	田名部匡代	辻元 清美	徳永 エリ	長浜 博行
羽田 次郎	広田 一	福士 珠美	牧山ひろえ	三上 えり
水岡 俊一	村田 享子	森 ゆうこ	森本 真治	山内佳菜子
横沢 高德	吉川 沙織	吉田 忠智	ラサール石井	蓮 舩
足立 康史	磯崎 哲史	伊藤 辰夫	上田 清司	牛田 茉友
江原くみ子	奥村 祥大	かごしま彰宏	川合 孝典	後藤 斎
小林さやか	榛葉賀津也	竹詰 仁	田村 まみ	堂込麻紀子
庭田 幸恵	芳賀 道也	浜口 誠	浜野 喜史	原田 秀一
平戸 航太	舟山 康江	水野 孝一	山田 吉彦	
青島 健太	浅田 均	石井 苗子	石井めぐみ	猪瀬 直樹
岡崎 太	嘉田由紀子	片山 大介	金子 道仁	串田 誠一
佐々木りえ	石 平	高木かおり	中条きよし	新実 彰平
松沢 成文	松野 明美			
安達 悠司	安藤 裕	岩本 麻奈	大津 力	神谷 宗幣
後藤 翔太	櫻井 祥子	塩入 清香	杉本 純子	中田 優子
初鹿野裕樹	松田 学	宮出 千慧	山中 泉	
岩渕 友	吉良よし子	小池 晃	白川 容子	大門実紀史
山添 拓				
大島九州男	奥田ふみよ	木村 英子	天島 大輔	山本 太郎
百田 尚樹				

高良 沙哉

尾辻 朋実

ながえ孝子

平山佐知子

内閣総理大臣 石破 茂 殿